

中体連夏季大会を終えて

3年生にとって最後の大会となる中体連夏季大会が行われました。この大会に向けてどの部活動も、日々の練習や練習試合等に一生懸命取り組んできました。

14日(金)には壮行式が行われました。各部の決意発表、選手宣誓、全校円陣、そして応援。返事や声、態度から気迫が感じられ、この大会にかける一人一人の思いが伝わってきました。



大会ではソフトボール部の優勝を筆頭に、各競技で県大会出場を決めた生徒、惜しくも県大会には進めなかった生徒、それぞれの結果がありました。結果ももちろん大切ですが、この3年間どのような思いで活動に取り組んできたのか、それが最も大切なことです。仲間を大切に、目標をもって、精一杯取り組んだこと。その気持ちがあれば、この3年間で大きなものを得ることができたと思います。

この中体連期間中に心が温まる場面がありました。それは野球応援の後の出来事です。応援を終えて集合をしていた所に、試合を終えた野球部のRくんが通りがかり、KCCのHくんに向かって「応援ありがとう。声聞こえてたよ!」と声をかけていました。Hくんは声を枯らしながら大きな声で応援していました。Hくんだけでなく、KCCを中心に応援団のみんなが精一杯応援していたし、中でも3年生は特に、学年の仲間が試合に出ていることもあり、応援に力が入っていたと思います。またRくん以外の野球部もみんなに「応援ありがとう」と声をかけていて、なんて素敵な瞬間なのだろうと心が温まりました。

たくさんの貴重な経験ができた中体連夏季大会となりました。運動部のみなさん、約2年半の間お疲れ様でした。また一つ行事が終わり、大きな山を越えました。名残惜しい気持ちもあると思いますが、高校でまた何かに打ち込むためにも、次にやるべきことに力を注いでいきましょう。

そしてソフトボール部のみなさん、優勝本当におめでとう。みなさんの1年生の時の積み重ねが実りましたね。県大会でも思い切りプレーしてください。

